



トイレのスリッパを揃えるということ

校長 水野 剛志

校内を巡回しながら、各階のトイレのスリッパの状態を気にしています。いつも美しく整えられている所もあれば、急いでいたのか1足だけ向きがちがうような所もあります。ここ最近、よく揃えられるようになった場所もあります。トイレのスリッパの状態が使っている生徒たちの生活の様子を教えてください。

スリッパが揃っているという状態はどのようにつくられるのでしょうか。「気付いた先生が揃えている」「保健委員が揃えている」「気付いた生徒が揃えている」「一人一人が自分の使ったものを揃えている」……。スリッパがどのように揃えられたのかによって意味合いは大きく異なります。

気づいた人がスリッパを揃えてもすぐに乱れる状況というのは、「誰かが揃えてくれていることに気付かない」そして「次に使う人のことを考えられない」人がいる（人が多い）ということだと思います。

スリッパが揃うようになってきたということは「揃えてくれる人がいることに気付くことができる」「揃えられたスリッパを乱さないように自分の使ったものを揃えられる」「次に使う人のことを考えられる」人が増えてきたということだと考えられます。

スリッパが揃っているかどうかは、一人一人の心の問題です。

「揃えられているスリッパを見て、揃えてくれた人の存在に気付くことができる」
「次に使う人のことを考えられる」 それは、とても素敵な事だと思います。

はきものをそろえると 心もそろろう
心がそろろうと はきものがそろろう
ぬぐとぎにそろえておくと はくとぎに心がみだれない
だれかが みだしておいたら だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと 世の中の人の心もそろうでしょう

長野県円福寺住職 藤本幸邦

今月末から人権週間に向けての取組が始まります。また、今年度は「いじめを見逃さない日」を通して自分自身を振り返ったり、思いやりについて考えたりする機会が多くあります。

目の前にあるスリッパから、自分自身を振り返ることができ、仲間の行動や気持ちを想像することができます。

スリッパを揃えることを目的とした活動も大切ではありますが、一人一人の心が動いた結果として、スリッパが揃っている学校を目指していきたいと思っています。



修学旅行へ行ってきました!

11月4日(水)に郡上方面への日帰り修学旅行へ行ってきました。白鳥町では若干雨がぱらぱらとしましたが、八幡町では好天のもと散策をすることができました。主な訪問先は、清流長良川あゆパーク(あゆのつかみ取りと塩焼き、シルクスクリーン印刷体験)、八幡城をはじめとした八幡散策、サンプルづくり体験、大滝鍾乳洞でした。学級ごとにそれぞれのコースをまわりました。

学年や学級で行う、今年度初めての行事であり、笑顔があふれる修学旅行となりました。サンプルづくりでは、説明を熱心に聞き、実演に歓声をあげ、自分の作品を喜ぶ姿に「素直な素敵な生徒さんで、学校生活での仲の良さが想像できます。」と店員さんが話してくださいました。どこへ行っても生徒たちの素直さや礼儀正しさがみられる修学旅行でもありました。



1・2年生は学年レクを実施

3年生が修学旅行へ出かけた日、学校に残った1・2年生は学年レクを実施しました。どちらの学年も学級委員会が中心となり感染症対策をしながら学年全員が楽しめるような企画をしました。

1年生は「しっぽ取り」2年生は「円陣バレー」でした。1、2年生にとっても初めて学年で行う行事となり、普段の授業とは違う表情が見られました。今月は、後期生徒会執行部による放送を使った全校レクも企画されています。

限られた中での生徒たちの工夫は、この時期につけて欲しい力でもあります。今後も、どのようなアイデアが出されるのか楽しみにしています。



ホームページ リニューアルのお知らせ

今月より、本校のホームページがリニューアルされています。旧ホームページの閲覧は今年度末まで可能ですが、11月2日以降の記事は新しいホームページに掲載されていません。生徒たちの学校生活の様子を発信していきますので、是非、ご覧ください。

■三輪中ホームページアドレス <https://gifu-city.schoolcms.net/miwa-j>